

- 問1 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適当なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため | 2. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため | 3. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため | 4. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため |
|----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
- 問2 日本海側に位置するある県について述べた資料において、「冬季は季節風の影響で豪雪地帯となること」、「国内生産の約9割、世界生産でも約2割のシェアを占める眼鏡フレームの産地であること」、「県南部の若狭湾に複雑に入り組んだ海岸線が見られること」という3つの特徴が挙げられています。この県はどこですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 石川県 | 3. 福井県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 中部地方の都市の降水量を示した統計において、他の都市と比較して年間を通じて降水量が少なく、グラフの数値が常に低くなる傾向にある都市とその地理的要因の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 浜松市：沿岸部に位置し、海風が常に強く吹いているため雲が発達しにくいから | 2. 金沢市：日本海側に位置し、冬の季節風が山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため | 3. 長野市：山々に囲まれた内陸の盆地に位置し、海からの湿った空気が入り込みにくいから | 4. 静岡市：太平洋側に位置し、冬の時期に晴天の日が多く、空気が極端に乾燥するため |
|---|---|---|---|
- 問4 ある県の人口統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり4638.4人と突出して高く、昼夜間人口比率も104.4%と100%を上回っています。また、2000年から2020年にかけて人口が約3万3千人増加している場合、この地域の人口動態に関する記述として正しいものを選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下している | 2. 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない | 3. 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある | 4. いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学している |
|--|---|---|--|
- 問5 標高3000メートル級の山々が連なる日本アルプスは、日本の冬の気候に大きな影響を与えています。この地形がもたらす気候への影響について、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 季節風を完全に遮断するため、日本海側と太平洋側の両方において冬の降水量が極端に少なくなる。 | 2. 標高が高いため一年中気温が変化せず、周辺の平野部に常に安定した温暖な気候をもたらす。 | 3. 山脈の間を吹き抜ける風が弱まるため、中部地方の内陸部では冬でも湿度が高く維持される。 | 4. 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。 |
|--|---|---|--|
- 問6 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 木曽山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 飛騨山脈 | 4. 越後山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へ向かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 木曽山脈 | 3. 赤石山脈 | 4. 日高山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 中部地方の農業について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる最も適切な用語を答えなさい。「中部地方の各県では、地形や気候の特色を活かした農業が行われています。農業産出額の統計を見ると、新潟県では稲作が盛んなため『米』が、山梨県では盆地の傾斜地などを利用するため『果実』が、長野県や愛知県では『野菜』がそれぞれ大きな割合を占めています。このように、各地域が特定の農産物を重点的に生産する体制を整えることを（ ）といいます。」 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 工芸作物の栽培 | 3. 産地形成 | 4. 畜産経営 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問9 北陸地方の気候と産業の特色について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 一年中降水量が少なく乾燥しているため、伝統的にため池を活用した綿花栽培が盛んに行われた。 | 2. 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。 | 3. 冬は乾燥して晴天の日が多いため、広大な土地を利用した太陽光発電が主な産業となっている。 | 4. 季節風の影響を避けるために、石垣や防風林で囲まれた家々での精密機械工業が発達した。 |
|---|--|--|--|
- 問10 中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 中央高地の気候 | 2. 日本海側の気候 | 3. 太平洋側の気候 | 4. 瀬戸内の気候 |
|------------|------------|------------|-----------|
- 問11 日本の都道府県別の工業統計において、製造品出荷額が全国で最も多く、その内訳として「輸送用機械」が53.5パーセントと、全体の過半数を占めている県はどこですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 静岡県 | 3. 千葉県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 四日市市の石油化学コンビナートが、生産効率を高めるために採用している仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 原油を精製する工場と、その派生品を加工する工場をパイプラインでつなぎ、連続して生産を行う。 | 2. 全国各地から部品をトラックで集積し、一つの大規模な工場で最終製品を組み立てる。 | 3. 電力消費を抑えるため、昼間は発電を行い、夜間に集中して機械を稼働させる。 | 4. 原料の輸送コストを削減するため、すべての製造工程を内陸部の原料産地の近くで行う。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。
問2	答え 3 福井県	北陸地方に位置する福井県は、鯖江市を中心に眼鏡フレームの生産が非常に盛んであり、世界的なシェアを誇る地場産業となっています。また、県南部の若狭湾は山地が沈水してできたリアス海岸として知られ、天然の良港に恵まれていることから、漁業や港湾都市が発達しています。
問3	答え 3 長野市：山々に囲まれた内陸の盆地に位置し、海からの湿った空気が入り込みにくいいため	長野市は内陸の盆地に位置しており、周囲を高い山々に囲まれています。海からの湿った空気がこれらの山々を越える際に雨や雪として水分を落としてしまうため、盆地内部には湿った空気が届きにくくなります。その結果、太平洋側の静岡市や日本海側の金沢市と比べて、年間を通じて降水量が少ない「中央高地の気候」の特徴を示します。
問4	答え 3 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある	高い人口密度と100%を超える昼夜間人口比率は、その地域が広域的な中心地であることを示しています。愛知県のように、製造業や商業が盛んな拠点都市を持つ地域では、雇用機会を求めて周辺から人が集まるため、昼間の人口が増加します。また、人口が増加しているというデータは、その地域の経済活動が活発であり、居住地としての需要も高いことを裏付けています。
問5	答え 4 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。	日本アルプスのような大規模な山塊は、冬に北西から吹く湿った季節風を遮る高い壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に上昇して雲を発達させ、日本海側に大量の雪を降らせます。その後、水分を失って乾燥した空気が山を越えて吹き下ろすため、太平洋側では乾燥した晴天が多くなります。このように、高い山脈の存在は日本の地域ごとの気候差を生む大きな要因となっています。
問6	答え 3 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問7	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問8	答え 3 産地形成	各地域の気候や地形、土壌などの自然条件や、大消費地からの距離といった社会的な条件に合わせて、特定の農産物を重点的に生産する仕組みのことです。これにより、生産の効率化やブランド化が図られます。選択肢にある工芸作物（茶や綿花など）や畜産（家畜の飼育）も農業の一部ですが、この現象全体を指す言葉としては不適切です。
問9	答え 2 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。	北陸地方の伝統産業は、厳しい冬の気候環境と密接に関わっています。十二月から二月にかけて降水量が急増し、気温の低下とともに雪に閉ざされる生活環境が、丁寧な手作業を必要とする工芸品づくりを育みました。これは、地域の自然環境が人々の生活様式や産業構造に影響を与えた典型的な事例です。
問10	答え 1 中央高地の気候	数値データを見ると、1月の平均気温が0度を下回る「氷点下」であることから、冬の寒さが厳しいことがわかります。また、1月の降水量が極めて少ない一方で、7月の降水量は1月の3倍以上になっており、「夏に雨が多く、冬に少ない」という内陸部特有の性質を示しています。これらは長野県などの標高が高い地域や盆地で見られる中央高地の気候の典型的な特徴です。日本海側の気候であれば、冬の降水量はもっと多くなります。
問11	答え 4 愛知県	中京工業地帯の中心であるこの県は、豊田市などを中心に自動車工業が極めて盛んです。製造品出荷額は1977年以来、連続して日本一を維持しており、産業構造としても自動車などの輸送用機械への依存度が非常に高いことが特徴です。
問12	答え 1 原油を精製する工場と、その派生品を加工する工場をパイプラインでつなぎ、連続して生産を行う。	コンビナートという仕組みは、原料の受け入れから中間製品の製造、さらにそれを加工する二次製品の製造までを地理的に集約し、各工場をパイプラインで結ぶことで、輸送コストの削減と生産の高速化を実現しています。四日市市はこの仕組みによって、自動車産業などに不可欠なプラスチックやゴム材料を大量供給しています。